

# 遠山雅夫氏採集の氷ノ山及び扇ノ山産 ヒゲナガゾウムシ目録

## 的 場 績

兵庫県の昆虫を研究されている、遠山雅夫氏の1977年度採集の氷ノ山と扇ノ山産のヒゲナガゾウムシに接する機会を得た。

氷ノ山及び扇ノ山のヒゲナガゾウムシ相については、奥谷禎一氏の「中国山脈東端の昆虫相」(1974)及び、畑中熙氏の「兵庫県産ゾウムシ類の記録I」(1975)によって、その大半が明らかにされているが、今回の採集品は14種類と、種類は少ないが、兵庫県未記録種4種を含み、その構成が極めて貴重なものであったので、ここに報告する。

1. *Choragus compactus* SHARP      キンヘリノミヒゲナガゾウムシ  
扇ノ山 10, VI, 1977      1頭  
本種は県未記録種である。 *Choragus* 属は体が非常に小さいものが多く、同定も困難なため、本属の種類については発表されていない場合が多い。今回の採集品中にもう一種、本属のものがあつたが、現在同定中である。
2. *Paramesus tessellatus* BOHEMAN      マダラヒゲナガゾウムシ  
扇ノ山 19, VI, 1977      2頭  
本種も県未記録種である。本種も体長3mm内外と小さく、地味な体色の為か、本種の記録は見当らない。
3. *Anthribus miveovariegatus* ROELOFS      イボタロウヒゲナガゾウムシ  
扇ノ山 12, VI, 1977      1頭  
本種も県未記録種である。本種によく似たタマカイガラヒゲナガゾウムシの記録はあるが、本種の記録は全く見られない。
4. *Ozotomerus japonicus* SHARP      ウスモンツツヒゲナガゾウムシ  
扇ノ山 12, VI, 1977      1頭  
本種は氷ノ山での記録はあるが、扇ノ山での採集記録はない。
5. *Euparius oculatus* SHARP      キノコヒゲナガゾウムシ  
扇ノ山 26, VI, 1977      1頭  
本種は最も普通種で、扇ノ山、氷ノ山の両方からすでに記録されている。

6. *Directarius incisus* SHARP エグリヒゲナガゾウムシ  
 扇ノ山 26, VI, 1977 1頭  
 本種は三室山周辺で採集されているが、氷ノ山及び扇ノ山での採集記録はない。
7. *Tropideres roelofsi* LEWIS クロフヒゲナガゾウムシ  
 扇ノ山 26, VI, 1977 1頭  
 本種も氷ノ山での記録はあるが、扇ノ山での採集記録はない。
8. *Tropideres laxus* SHARP カオジロヒゲナガゾウムシ  
 扇ノ山 26, VI, 1977 1頭  
 17, VI, 1977 1頭  
 本種は、氷ノ山、扇ノ山からもすでに記録されている。
9. *Tropideres germanus* SHARP キマダラヒゲナガゾウムシ  
 扇ノ山 12, VI, 1977 1頭  
 本種は氷ノ山からは記録されているが、扇ノ山での記録はない。
10. *Tropideres multiguttatus* NAKANE コモンマダラヒゲナガゾウムシ  
 氷ノ山(坂ノ谷) 14, Ⅷ, 1977 1頭  
 本種は三室山周辺から採集されているが、氷ノ山、扇ノ山からの記録はない。
11. *Tropiders latirostris* SHARP チャマダラヒゲナガゾウムシ  
 扇ノ山 19, VI, 1977 1頭  
 17, VI, 1977 1頭  
 氷ノ山での記録はないが、扇ノ山からはすでに記録されている。
12. *Autotropis distinguendus* SHARP スネアカヒゲナガゾウムシ  
 扇ノ山 5, VI, 1977 1頭  
 本種は氷ノ山、扇ノ山からもすでに記録されている。
13. *Ulorhinus funebris* SHARP  
 扇ノ山 17, VI, 1977 1頭  
 氷ノ山 14, Ⅷ, 1977 1頭  
 本種も県未記録である。本種は図鑑に載っていないので、記録されていなかったものと思われる。キボシヒゲナガゾクに似ているが、全体が黒色で不明瞭な白紋を散在し、眼は広く離れ、翅鞘第3間室が弱く隆起するのが特徴。
14. *Habrissus longipes* SHARP ナガアシヒゲナガゾウムシ

氷ノ山(坂ノ谷) 24, VI, 1977 1頭

氷ノ山(福定) 7, 溜, 1977 1頭

普通種で、氷ノ山、扇ノ山からもすでに記録されている。

## 兵庫県産タマムシの記録 (I)

遠山雅夫

### (A) アオマダラタマムシの新産地

本会会員の三木進氏より、タマムシの標本を頂いたが、その中に三田市産の本種が含まれていたため記録しておく。

*Nipponobuprestis amabilis* (Snellen van Vollenhoven,  
1864)

アオマダラタマムシ

1♂ 30. VI. 1974 三田市香下 三木氏採集

### (B) いわゆる「中国山地東端」地域より新しく記録されるタマムシ。

1974年に「中国山地東端の昆虫相」がまとめられ、その中に本科に属するもの46種がリストにされている。これに文献による2種(ホソクロナガタマムシ、トガリカラカネナガタマムシ)が追加されるが、更に次の2種を採集しているため記録しておきたい。これでこの地域から50種のタマムシが記録されたことになる。

*Ovalisia virgata* (Motshulsky 1859)

クロホシタマムシ

1 ex. 12. VI. 1977 扇ノ山 筆者採集

*Ovalisia vivata* (Lewis, 1892)

マスタクロホシタマムシ

1 ex. 2. VI. 1978 赤面溪谷 筆者採集

### (C) トガリカラカネナガタマムシの記録。

本種は1976年に記載されたもので、兵庫県 Ikada、広島県 Kake、長野県裾花峠などが記録されている。筆者は扇ノ山にて採集しており、氷ノ山産の標本も見ているので、この地域には少ないながら広く分布するものと思われる。しかしながら、瀬戸内海側斜面の赤西溪谷では、今までに、少なくとも20種の *Agrilus* が得られ、又かなりの個体数が採集さ